

中部森林管理局・森林農地整備センター中部整備局連絡会議を開催

〔企画調整課〕 中部森林管理局・森林農地整備センター中部整備局連絡会議が2月25日、中部森林管理局において開催されました。

当連絡会議は、民有林・国有林を通じた一体的な林政を展開するため、情報交換や意見調整等を目的に設置したもので今回初めての開催となりました。



会議の様子

会議の冒頭、奥田局長のあいさつに続き、城土森林農地整備センター所長から九州の五木地域森林整備推進協定の取組の紹介があり、「九州に次ぐ第2、第3弾を中部で行いたい。」「苗木も共通課題」、「連携により木材の共同販売に繋がっていきたい。」との話がありました。

会議では、お互いの事業概要や事業量、今後の苗木需要、低コスト造林の取組、契約事業体、森林整備推進協定等について情報交換を行い、「中

部局から委託販売業務の問屋業者の情報をいただき新たな業者に登録していただけた。」「コンテナ苗の単価は裸苗の2倍であるが増産されると単価が下がるため、中部局と中部整備局の取組が重要」、「苗木は連携して進めないと需給調整が困難になる。」など今後の課題と連携の効果について話し合いました。

今後、事業及び関連情報の共有や技術の開発・普及に関する連携、森林共同施業団地の設定、中部局が実施するイベントや安全パトロールへの中部整備局の参加など引き続き連携していくことを確認し、第1回の会議を終了しました。